

□議員名：河崎 平男

1 総合教育会議について

論点	教育行政の今後の指針となる大綱や学校の統廃合、いじめ対策など総合教育会議の進捗状況はどうなっているのか。
回答	去る7月30日に設置し、初めて会議を開催し、運営要綱や大綱の策定方針など意見を交わした。今年度は、この大綱の策定を目指し、より良い充実した教育行政を目指していく。

2 学校教育の充実について

論点	児童生徒の不登校の実態についてどのように把握されているか。
回答	30日以上欠席した児童生徒は、平成26年度、病気を理由にする者が7名、不登校を理由にする者が55名で経済的理由による者はなかった。今後も児童生徒、保護者に丁寧な対応を取っていく。

論点	いじめの実態、認知件数はどのように考えているか。
回答	学校では積極的にいじめ件数を挙げている。近年は増加傾向で昨年度は小学校14件、中学校20件である。最近はスマートフォンやインターネット上の人間関係に関するトラブルが増えている。いじめを深刻化させないように解消に向けて対応していく。

論点	小中学校の道徳が特別の教科として格上げされるがどのように考えているか。
回答	道徳教育の重要性がさらに求められており、各学校で指導主事や担当教諭を振り分けしている。課題は評価方法をどのようにするかであり、文科省では言葉による評価を考えている。

3 文化財の保護継承について

論点	貴重な写真の記録保存としてデジタルデータ化してはどうか。
回答	歴史民俗資料館所蔵品の約9割は写真データで保存している。厚狭図書館所蔵の資料や文化財、フィルム写真などは少しずつでも進めていきたい。